

2年生・鎌倉時代（1）

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| ① 平清盛は、1180年に即位した何天皇の外祖父となったか | ① (安徳天皇) |
| ② 安徳天皇の母は、平清盛の娘でなんという名前か | ② (平徳子(建礼門院)) |
| ③ 安徳天皇の父方の祖父はだれか。 | ③ (後白河法王) |
| ④ 1180年から始まった源平の合戦のことをなんの乱というか | ④ (治承・寿永の乱) |
| ⑤ 1180年に平氏打倒をあげた後白河法皇の皇子は誰か | ⑤ (以仁王) |
| ⑥ 1180年に皇子と共に兵をあげた源氏は誰か | ⑥ (源頼政) |
| ⑦ 以仁王の出した命令の文書のこと | ⑦ (令旨) |
| ⑧ 源頼朝は1180年にどこで挙兵したか | ⑧ (伊豆) |
| ⑨ 1180年に木曾で挙兵したのは誰か | ⑨ (源義仲) |
| ⑩ 源頼朝が挙兵して敗戦した戦いはなんというか | ⑩ (石橋山の戦い) |
| ⑪ 1180年に平清盛はどこに遷都したか | ⑪ (福原京) |
| ⑫ 1180年に平重衡が東大寺や興福寺を焼失させたできごとのこと | ⑫ (南都焼き打ち) |
| ⑬ 1183年に源義仲が平氏を破って上洛した戦いのこと | ⑬ (俱利伽羅峠の戦い) |
| ⑭ 1184年に、摂津の粟津で源義仲を滅ぼしたのはだれか | ⑭ (源義経) |
| ⑮ 1183年に、即位した天皇は誰か | ⑮ (後鳥羽天皇) |
| ⑯ 1183年に源頼朝はどここの支配権を認められたか | ⑯ (東海道・東山道) |
| ⑰ 平氏が敗れた摂津の戦いのこと | ⑰ (一の谷の戦い) |
| ⑱ 平氏が敗れた讃岐の戦いのこと | ⑱ (屋島の戦い) |
| ⑲ 1185年に長門国で行われた戦いのこと | ⑲ (壇ノ浦の戦い) |
| ⑳ 平氏滅亡の戦いで指揮を取った二人はだれとだれ | ⑳ (源範頼・源義経) |
| ㉑ 鎌倉時代も将軍と主従関係を結んでいた武士をなんというか | ㉑ (御家人) |
| ㉒ 源頼朝は、国衛の実権を握る役人のこと | ㉒ (在庁官人) |
| ㉓ 源頼朝が1185年に諸国においた役所 | ㉓ (守護) |
| ㉔ 源頼朝が1185年に荘園や公領においた役所 | ㉔ (地頭) |
| ㉕ 守護・地頭を置くことを献策した人 | ㉕ (大江広元) |
| ㉖ 守護の権限とその内容のこと | ㉖ (大犯三ヶ条・大番催促・謀叛人・殺人者の逮捕) |

2年生・鎌倉時代(2)

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| ① 1180年につくられた御家人を統率する役所と初代別当は | ① (侍所・和田義盛) |
| ② 1184年いつくられた一般政務を担当する役所と初代別当は | ② (公文所(政所)・大江広元) |
| ③ 1184年につくられた裁判業務を司る役所と初代執事は | ③ (問注所・三善康信) |
| ④ 1185年につくられ他在京御家人の統率・洛中の警備・裁判の役所は | ④ (京都守護) |
| ⑤ 九州の御家人の統率や軍事警察の仕事をする役所 | ⑤ (鎮西奉行) |
| ⑥ 奥州の御家人の統率と幕府の訴訟などを取り次ぐ役所 | ⑥ (奥州総奉行) |
| ⑦ 1192年に源頼朝が就任した役職 | ⑦ (征夷大將軍) |
| ⑧ 御家人の土地を守ることや新しい土地を与えること | ⑧ (御恩) |
| ⑨ 御家人が將軍のために働くこと | ⑨ (奉公) |
| ⑩ 父祖伝来の土地を守ること | ⑩ (本領安堵) |
| ⑪ 新たな所領を与えること | ⑪ (新恩給与) |
| ⑫ 御家人の平時の仕事のこと | ⑫ (京都大番役・鎌倉番役) |
| ⑬ 將軍の財政基盤で平家没官領が主で500ヶ所あったもの | ⑬ (関東御領) |
| ⑭ 將軍が知行国主となる全国9ヶ所あった所領のこと | ⑭ (関東御分国) |
| ⑮ 源頼朝の妻とその妻の父はだれ | ⑮ (北条政子・北条時政) |
| ⑯ 鎌倉幕府の2代將軍はだれ | ⑯ (源頼家) |
| ⑰ 石橋山の戦いで頼朝を助け、1200年に鎌倉を追放された人物 | ⑰ (梶原景時) |
| ⑱ 源頼家の妻の父で北条氏打倒を企てて失敗し殺害された人物 | ⑱ (比企能員) |
| ⑲ 頼家が殺害された場所 | ⑲ (修善寺) |
| ⑳ 1203年に3代將軍となった人物 | ⑳ (源実朝) |
| ㉑ 1203年に初代執権となった人物 | ㉑ (北条時政) |
| ㉒ 北条政子の弟の名前 | ㉒ (北条義時) |
| ㉓ 源実朝の後に將軍になった人物 | ㉓ (藤原頼経) |
| ㉔ 後鳥羽上皇が新たにおいた武士 | ㉔ (西面の武士) |
| ㉕ 1221年、後鳥羽上皇が起こした乱 | ㉕ (承久の乱) |
| ㉖ 後鳥羽上皇はどこに流されたか | ㉖ (隠岐) |

2年生・鎌倉時代（3）

- | | |
|--------------------------------------|----------------------|
| ① 承久の乱後に鎌倉幕府が没収した京都方の所領の数 | ① (3000) |
| ② 承久の乱後に新しく任命した地頭のこと | ② (新補地頭) |
| ③ 新補地頭の取り分を決めた法 | ③ (新補率法) |
| ④ 承久の乱の前から置かれていた地頭 | ④ (本補地頭) |
| ⑤ 北条義時が出した土地の台帳 | ⑤ (大田文) |
| ⑥ 承久の乱後に京都守護に代わって置かれた役所 | ⑥ (六波羅探題) |
| ⑦ 執権を補佐し執権と共に幕府の政務文書に署名をする役職 | ⑦ (連署) |
| ⑧ 有力御家人からなる合議制による政治や裁判の運営の役職 | ⑧ (評定衆) |
| ⑨ 武家社会における最初の成文法は | ⑨ (御成敗式目) |
| ⑩ 御成敗式目を制定した人物 | ⑩ (北条泰時) |
| ⑪ 御成敗式目は何ヶ条からなるか | ⑪ (51ヶ条) |
| ⑫ 御家人の平時の仕事のこと | ⑫ (京都大番役・鎌倉番役) |
| ⑬ 5代目執権北条時頼は、宝治合戦でだれを滅ぼしたか | ⑬ (三浦泰村) |
| ⑭ 北条時頼が評定衆の下に置いた所領裁判の迅速・公正さを図った役職 | ⑭ (引付衆) |
| ⑮ 元寇の時の執権はだれ | ⑮ (北条時宗) |
| ⑯ チンギス=ハンの孫で1271年に国号を元と改めた人物 | ⑯ (フビライ=ハン) |
| ⑰ 元が征服した朝鮮半島の国名は | ⑰ (高麗) |
| ⑱ 北条時宗が元の来襲に備えた御家人を北九州の防備に動員する制度 | ⑱ (異国警固番役) |
| ⑲ 1274年の一度目の元の来襲のこと | ⑲ (文永の役) |
| ⑳ 1281年の二度目の元の来襲のこと | ⑳ (弘安の役) |
| ㉑ 元がとった戦法と武器 | ㉑ (集団戦法・てつほう) |
| ㉒ 元寇の武功を子孫に伝えるために「蒙古来襲絵詞」を制作させた人物 | ㉒ (竹崎季長(たけざきすえなが)) |
| ㉓ 北条氏の嫡流(本家の血筋)のこと | ㉓ (得宗) |
| ㉔ 得宗の家臣のこと・その代表のこと | ㉔ (御内人・内管領) |
| ㉕ 安達泰盛が滅ぼされた事件 | ㉕ (霜月騒動) |
| ㉖ 1297年に御家人救済のために出された所領の売買・質入れの禁止の法令 | ㉖ (永仁の徳政令) |

2年生・鎌倉時代（4）

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| ① 中世の武士の屋敷のこと | ① (館) |
| ② 武士の館の特徴 | ② (矢倉・土塁・堀) |
| ③ 館の建築様式 | ③ (武家造) |
| ④ 武士が行った騎射三物 | ④ (笠懸・流鏑馬・犬追物) |
| ⑤ 武士が宗家を中心に一門を形成して団結する体制のこと | ⑤ (惣領制) |
| ⑥ 一族の長とその他の者の呼び名 | ⑥ (惣領・庶子) |
| ⑦ 鎌倉時代の一般的な相続と末期の相続のこと | ⑦ (分割相続・単独相続) |
| ⑧ 現地の土地や人の全てを地頭に委ねること | ⑧ (地頭請) |
| ⑨ 土地を荘園領主と地頭が折半すること | ⑨ (下地中分) |
| ⑩ 米と裏作として麦を栽培すること | ⑩ (二毛作) |
| ⑪ 刈った植物を焼いてつくる肥料のこと | ⑪ (草木灰) |
| ⑫ 鎌倉時代に広がった農具は何を使っていたか | ⑫ (鉄) |
| ⑬ 耕すために使っていた動物 | ⑬ (三浦泰村) |
| ⑭ 北条時頼が評定衆の下に置いた所領裁判の迅速・公正さを図った役職 | ⑭ (牛・馬) |
| ⑮ 紙の原料・灯油の原料 | ⑮ (楮・荏胡麻) |
| ⑯ 鍋などの日用品を製作した職人のこと | ⑯ (鋳物師) |
| ⑰ 月に3回開かれる定期市のこと | ⑰ (三斎市) |
| ⑱ 同業者の集まりのこと | ⑱ (座) |
| ⑲ 商品取引に主に使われた銭貨 | ⑲ (宋銭) |
| ⑳ 貨幣の輸送を割府と呼ばれる手形で代用すること | ⑳ (為替) |
| ㉑ 高利貸業者のこと | ㉑ (借上) |
| ㉒ 年貢の輸送と保管の仕事 | ㉒ (問丸) |

2年生・鎌倉時代仏教・文化（1）

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| ① ひたすら念仏を唱えることで死後に等しく極楽往生する教え | ① (専修念仏) |
| ② ①の教えを唱えた人物とその宗教 | ② (法然・浄土宗) |
| ③ ①が著した書物 | ③ (選択本願念仏集) |
| ④ ①の弟子の名前と宗教名 | ④ (親鸞・浄土真宗) |
| ⑤ ④の人物の著書 | ⑤ (教行信証) |
| ⑥ ④が京都に開いた宗派の中心となったお寺 | ⑥ (本願寺) |
| ⑦ 煩悩の深い人間こそが阿弥陀仏の救済の対象であるという教え | ⑦ (悪人正機説) |
| ⑧ ⑦が書かれている唯円の書物 | ⑧ (歎異抄) |
| ⑨ 時宗の開祖 | ⑨ (一遍) |
| ⑩ ⑨が行なった独特の布教形態 | ⑩ (踊念仏) |
| ⑪ ⑨の一生を描いた絵巻物 | ⑪ (一遍上人絵伝) |
| ⑫ 法華宗（日蓮宗）の開祖 | ⑫ (日蓮) |
| ⑬ 日蓮はなにを唱えると救われると説いたか | ⑬ (題目) |
| ⑭ 日蓮が著した書物 | ⑭ (立正安国論) |
| ⑮ 日蓮宗の総本山はなに寺 | ⑮ (久遠寺) |
| ⑯ 臨済宗の開祖はだれ | ⑯ (栄西) |
| ⑰ 栄西の書いた書物はなに | ⑰ (興禅護国論) |
| ⑱ ひたすら座禅をすることで悟りの境地に達することができること | ⑱ (只管打坐) |
| ⑲ 曹洞宗の開祖はだれ | ⑲ (道元) |
| ⑳ 道元の著書はなに | ⑳ (正法眼蔵) |
| ㉑ 曹洞宗の総本山はなに寺 | ㉑ (永平寺) |
| ㉒ 鎌倉に建長寺を開いた人物はだれ | ㉒ (蘭溪道隆) |
| ㉓ 鎌倉に円覚寺を開いた人物はだれ | ㉓ (無学祖元) |
| ㉔ 法相宗を再興した人物はだれ | ㉔ (貞慶) |
| ㉕ 華嚴宗の再興につとめた人物はだれ | ㉕ (明恵) |

2年生・鎌倉時代仏教・文化（2）

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| ① 律宗の復興に努めた人物はだれ | ① (叡尊) |
| ② 鎌倉時代に再興された東大寺の門のこと | ② (南大門) |
| ③ 東大寺南大門にある彫刻の名前 | ③ (仁王像(金剛力士像)) |
| ④ ③をつくった人物はだれ | ④ (運慶) |
| ⑤ 人物の肖像を写實的に描いた絵のこと | ⑤ (似絵) |
| ⑥ 宋や源から伝えられた書風を取り入れた鎌倉時代の書風 | ⑥ (青蓮院流) |
| ⑦ 加藤景正は何の開祖 | ⑦ (瀬戸焼) |
| ⑧ 朝廷の儀式や先例を研究すること | ⑧ (有職故実) |
| ⑨ 北条実時が武蔵国に建てた私立図書館 | ⑨ (金沢文庫) |
| ⑩ 歴史を道理でとらえた愚管抄の作者 | ⑩ (慈円) |
| ⑪ 鎌倉幕府の記録を著した書物 | ⑪ (吾妻鏡) |
| ⑫ 後鳥羽上皇の命で編集された和歌集と編者 | ⑫ (新古今和歌集・藤原定家) |
| ⑬ 金槐和歌集を著した人物 | ⑬ (源実朝) |
| ⑭ 山家集を著した人物 | ⑭ (西行) |
| ⑮ 藤原定家の日記のこと | ⑮ (明月記) |
| ⑯ 方丈記を著した人物 | ⑯ (鴨長明) |
| ⑰ 徒然草を著した人物 | ⑰ (吉田兼好) |
| ⑱ 無住によって表された仏教説話集 | ⑱ (沙石集) |
| ⑲ 琵琶法師によって語られた物語 | ⑲ (平家物語) |
| ⑳ 阿仏尼によって記された紀行文 | ⑳ (十六夜日記) |